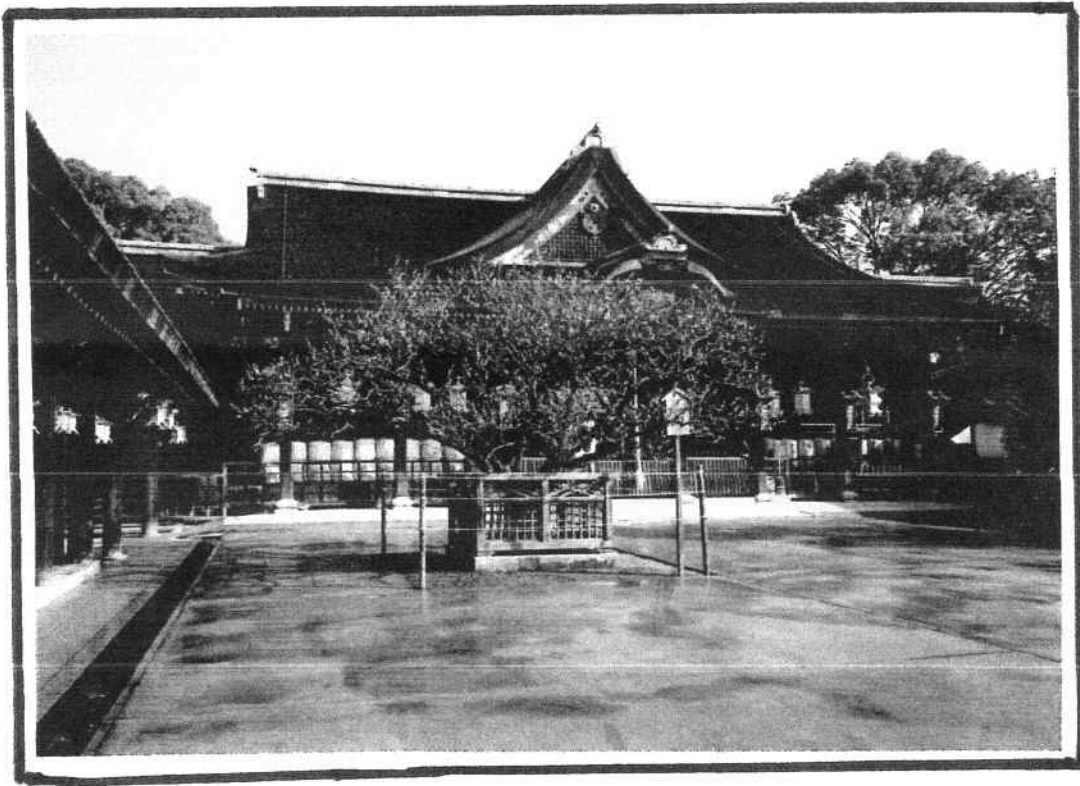


CQ かすかぎ

JA2YDX



No. 624. MAY. 2023.

春日井アマチュア無線クラブ

2023(令和5年)春のバラ展のご案内

J021KG 北 健司 & J020TZ 北志津江

○第70回 春日井 春のバラ展

場 所：春日井市立植物園 緑の相談所 展示ホール

開催日：令和5年5月13(土)、14(日)

主 催：春日井市 協 力：春日井ばら会

春日井市政80周年記念事業に認定されました。会員一同張り切っています。
お誘い合わせて是非いらしてください。



春日井市都市緑化植物園 展示室


住所：春日井市細野町3249番地1
電話：(0568)92-8711

2023年5月13日(土) 午前10:00～午後4:30

2023年5月14日(日) 午前 9:00～午後4:00

入場無料・最終日は午後4時終了となりますのでご注意ください

春日井市制80周年記念事業

春日井ばら会 



○バラの栽培講習会

場 所：春日井市立植物園 緑の相談所 講習室

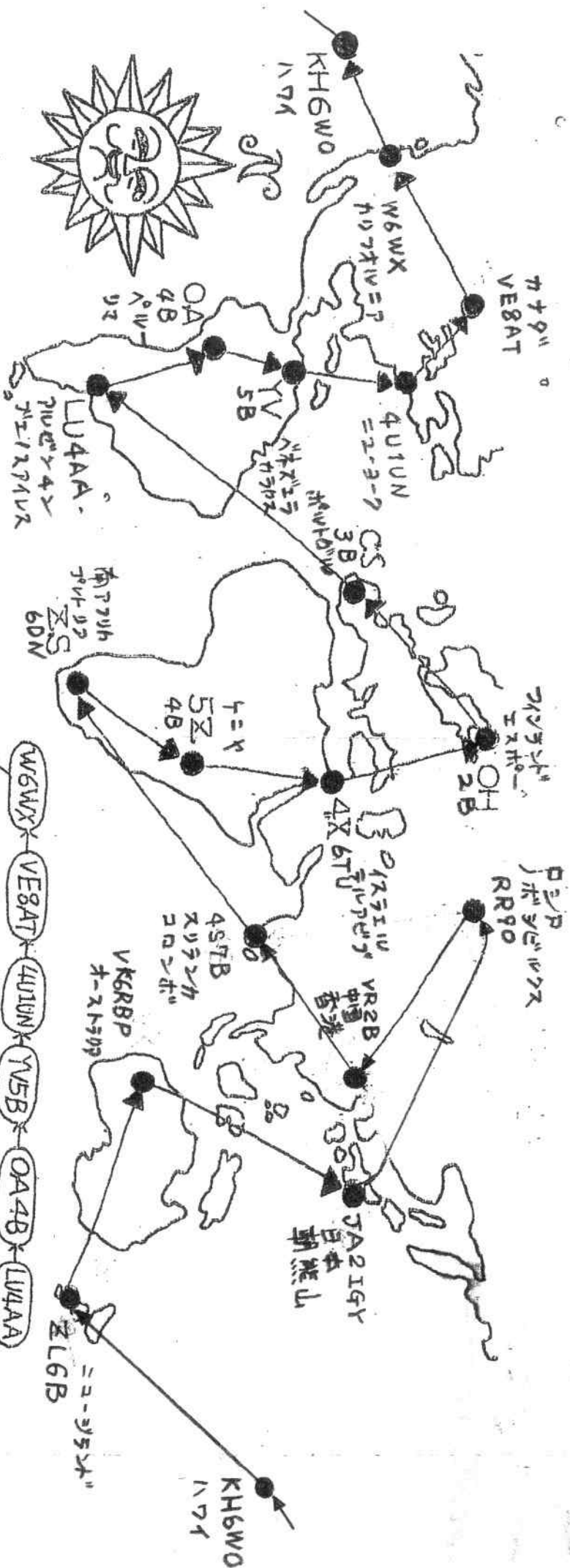
講習日：令和5年6月3日 AM9:30～11:30

費 用：250円(定員40名)

お問い合わせ、お申し込みは、春日井市植物園 TEL:0568-92-8700 まで

○我が家のバラ園と玉野農場のバラは5月10日頃が見頃です。

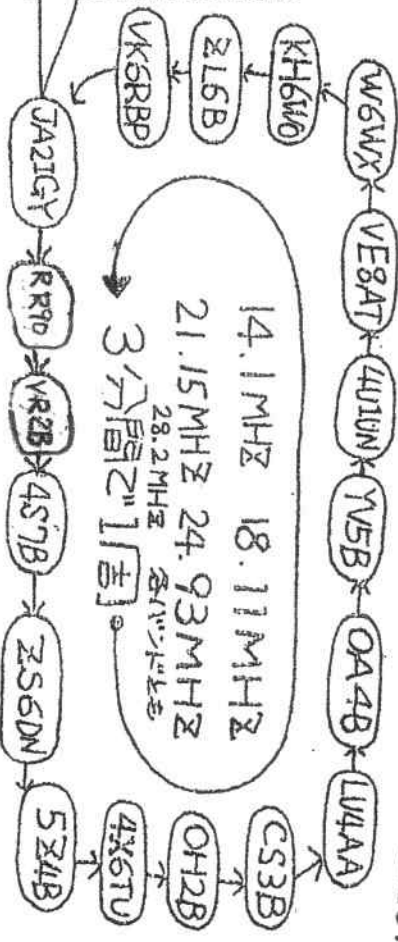
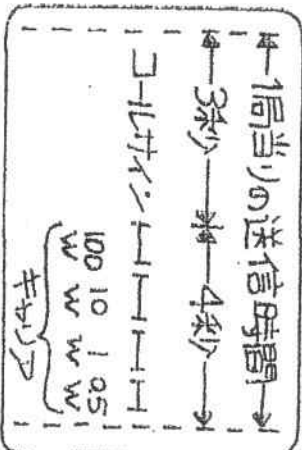
お近くへお越しの際はどうぞお立ち寄りください。藤山台 8-14-4



IRPレコーダ

24時間レコーダ運用中

100W → 10W → 1W → 0.5W
の信号を聞き比べ之
がベスト



JA2IGY 送信時間 毎時

- 01 04 07 10 13 16 19 22 25 28 31
- 34 37 40 43 46 49 52 55 58 命

- | | |
|----------|----|
| 14.1MHz | 0秒 |
| 18.1MHz | 10 |
| 21.15MHz | 20 |
| 24.93MHz | 30 |
| 28.2MHz | 40 |

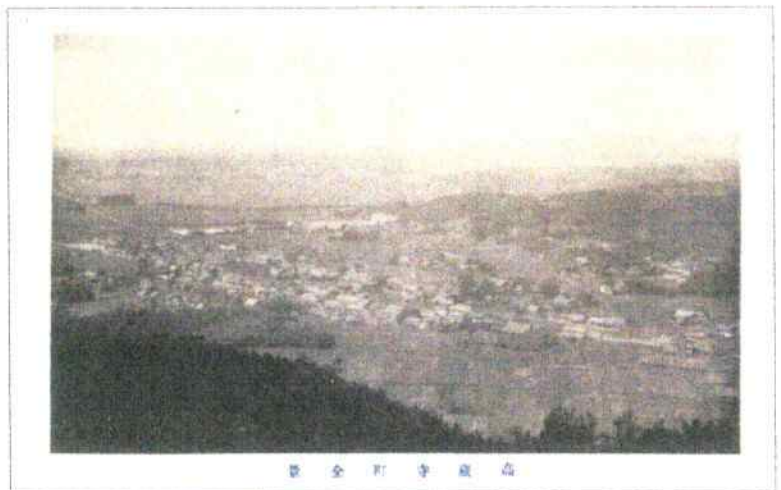
知らなかった高蔵寺の歴史 No.1 2022.7.23

昭和5年(1930)高蔵寺町制記念絵はがき① 文責 金子(52-6184)

今から92年前の昭和5(1930)年、「高蔵寺村」が「高蔵寺町」となり、昭和33年合併して「春日井市」になった、と聞いています。私が「高蔵寺」の名を知ったのは多摩・千里と並ぶ、日本の三大ニュータウンの名前でした。「いつかは理想の街ニュータウンに住みたいな!」と思っていました。ある時、松竹映画『男はつらいよ 柴又慕情』のラストシーンにあこがれのマドンナ吉永小百合の嫁ぎ先として「春日井市高蔵寺町」の名が出てくるではありませんか。(1972年夏公開)高蔵寺への関心は高まり、ついには縁あってこちらに移住してきました。吉永小百合さんには会えませんでした。霜畑公園で毎日続けられているラジオ体操に入れていただき、高蔵寺のことをたくさん教えていただきました。『高蔵寺町誌』『高蔵寺農協60年史』など貴重な書籍をいただき、古い写真や徳利などを見せていただいたりしているうちに、この町の歴史を知りたいと思うようになりました。今回のテーマは「知らなかった高蔵寺の歴史」です。もちろん主語は「私」です。「今頃何を!」と笑われそうですが、「よそ者」から見た高蔵寺の歴史と魅力にお付き合いいただければ幸いです。なお、独りよがりで間違いも多いかと思えます。お気づきのことは上記へお知らせいただければありがたいです。プリント不要もご遠慮なくお知らせ下さい。それでは……

高蔵寺町制施行記念の3枚の絵はがき(写真)が発行されています。

1枚目は東谷山から高蔵寺町の全体を見下ろした写真です。小さくて見えづらいのですが、まだ、田畑が広がっているのがわかります。右下に高座劇場(タマゲキ)らしき建物があります。タマゲキは高蔵寺町唯一の劇場で、廻り舞台に花道が上下二本設置された本格的な舞台でした。高蔵寺町一番の集会所でもありました。



2枚目は高蔵寺町役場と高座尋常高等小学校です。町役場は大字高蔵寺にありました。現在の高蔵寺ふれあいセンターのあたりです。

高座尋常高等小学校は当初現在のJA(農協)の場所にありましたが、現在の高蔵寺中学校の位置に移転して、当時としては珍しい鉄筋コンクリート2階建てのりっぱな校舎が建てられました。(絵はがきは古本屋さんで見つけました)

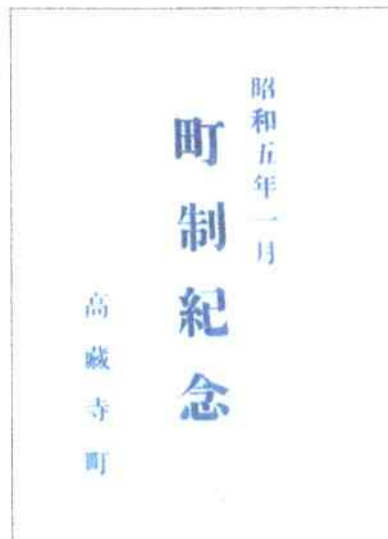


知らなかった高蔵寺の歴史 No.2 2022.7.30

昭和5年(1930)「高蔵寺町制記念絵はがき」② 文責 金子(52-6184)

「町制紀(記)念」として配布された絵はがきの三枚目は江戸時代以来のメインストリートである本町通と中央線開通以来にできた新町通の写真です。本町通の写真は郵便ポストがあるところが、現在のスポーツ用品店パークレーハウスの場所だそうです。かつては郵便局だったそうです。

新町通の写真はハイカラな建物に「長縄」という文字が見えます。坂下—高蔵寺—瀬戸を結ぶ乗合自動車(バス)とタクシーを営業していた長縄自動車の営業所です。

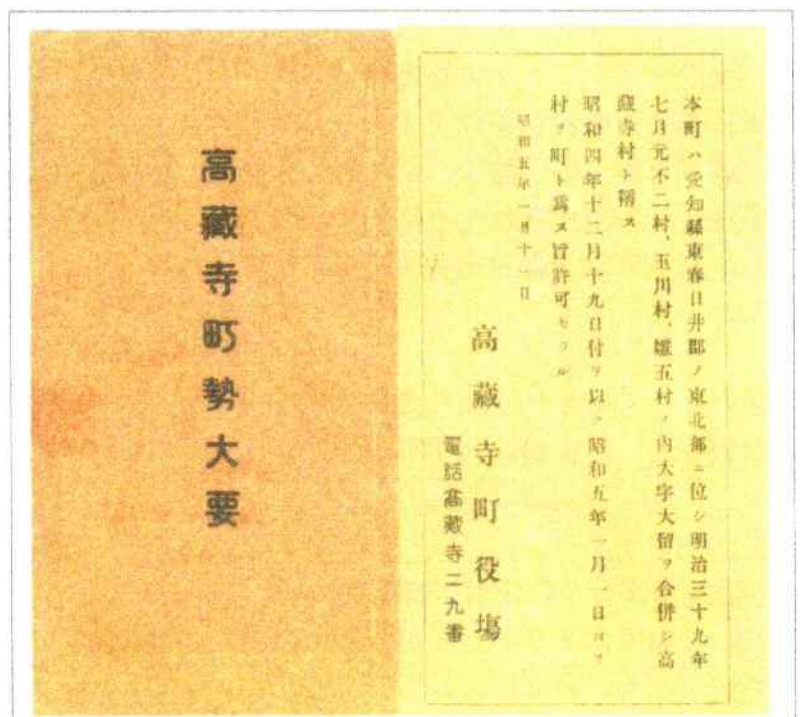


3枚の絵はがきとともに「高蔵寺町勢大要」が発行されています。

町制施行当時の高蔵寺町の様子が具体的に書いてあります。(昭和4年統計)

高蔵寺町を構成する10の大字(区)

名前	戸数	人口
外之原	168 戸	995 人
玉野	192 戸	1,212 人
高蔵寺	320 戸	1,950 人
気噴	100 戸	581 人
大留	130 戸	754 人
出川	149 戸	870 人
松本	68 戸	306 人
神明	29 戸	161 人
庄名	32 戸	183 人
白山	117 戸	693 人
計	1,306 戸	7,705 人



知らなかった高蔵寺の歴史 No.3 2022. 8. 6

昭和5年(1930)「高蔵寺町勢大要」①

文責 金子(52-6184)

日本酒 レンガ 亜炭 セメント

当時の高蔵寺町の産業はどうだったのでしょうか？

江戸時代以来の農村であったことは間違いありませんが、「高蔵寺町勢大要」によると米・麦・生糸・繭(まゆ)の生産以外にも川魚・きのこ・玉野の蓑・清酒・味噌・溜の生産、珪石・ガラス原料・亜炭などの地下資源の採掘やタテサン(中央窯業)の耐火煉瓦がありました。

これらは地元で消費されるだけでなく、近隣の町村に供給されていました。高蔵寺の酒造業は本町通公民館近くにあった松本酒造です。屋号は「大米屋」で、「日進」という銘柄の日本酒を製造、地元はもとより、東農・名古屋・三河方面に出荷されていました。右の陶器の樽は松本ラジオさん所有のものです。通いに使った徳利には「高蔵寺 大米屋」に徳利番号が付けられていました。



今もある中央窯業は大正時代には加藤商店と呼ばれていたそうです。耐火煉瓦の主な納品先は鉄道省・海軍省であったことが記されています。勝川駅が高架に改修された時に古いプラットホームの下から出てきたレンガも中央窯業で造られたものだったそうで、今も会社に保存されています。



高蔵寺の亜炭は江戸時代から採掘されていて、尾張藩の武士が定光寺の藩祖徳川義直公の墓所参拝の道中に見学した記録が残されています。亜炭は繊維工場・風呂屋・家庭用燃料として名古屋・三重・岐阜・

静岡へ出荷されていました。戦時下では重要資源として陸・海軍に納品されていたといえます。

五社大明神社の東に水晶が採れる源石山とよばれていた碎石場があります。公民館に保存されている写真には小野田セメントと記されています。小野田と言えば全国的に有名な会社です。そんな会社が高蔵寺に本当にあったのでしょうか??

五社大明神社の本殿正面の玉垣には「玉垣寄贈小野田セメント株式会社」の名前が彫り刻まれているのです。ご覧になりましたか？



知らなかった高蔵寺の歴史 No.4 2022. 8. 13

昭和5年(1930)「高蔵寺町勢大要」②

文責 金子(52-6184)

大字高蔵寺・大字玉野の職業別戸数

「高蔵寺町勢大要」では10の大字の内、高蔵寺と玉野とその他を分けて扱っています。8つの大字が純農村であるのに対して、この二つを「市街地を具備している」地区としています。

二つの大字が他地区と異なる点は中央線の停車場が存在することです。「高蔵寺」「定光寺」の駅は製造品の移出・移入の窓口となり、大正時代以降は定光寺・玉野川溪谷観光の玄関口として発展しました。大字高蔵寺本町通りには商店が並び、新町通には観光客を目当ての店が立ち並んでいきました。鹿乗橋付近、大字玉野定光寺駅周辺も観光地として発展していきます。



上の2つの表では高蔵寺・玉野地区で商業が盛んになっていることはわかります。さらに『高蔵寺町勢大要』には高蔵寺・玉野の市街地513戸の職業別戸数が出ています。513戸中農業は125戸で、24%です。

料理飲食店48戸、呉服太物業16戸、理髪結髪業9戸、菓子小売21戸、宿屋5戸、芸妓置屋6戸、遊芸舞曲師匠3戸、玉突3戸など農村になかった業種が目につきます。

『愛知県史』によると、高蔵寺町は昭和8年には蒲郡・河和と並ぶ「休養地」としての発展が期待されていたことが記述されています。

へ、全 上区域内ノ主ナル職業別戸数

陶器小賣業	二	運送業	九	八百屋業	五
賣藥業	三	酒造業	一	製糸業	一
瓦製造業	五	タオル製造業	二	洋服裁縫業	一
電気業	二	煉炭製造業	一	自轉車修繕業	二
指物業	五	墨製造業	二	菓子製造業	四
展物業	四	筆冶業	二	亞炭業	二
亞炭採掘業	四	麵粉製造業	三	硅石採掘業	二
精米業	四	桶製造業	一	錫柄製造業	一
豆腐製造業	二	紙力製造業	一	新聞業	一
寫真業	一	傘製造業	一	表具師	一
箕製造業	七	官廳	三	僧侶	二
教員	六	官吏	二	社員	七

會社	六	銀行	一	信用組合	二
料理飲食店	四	藝妓置屋	六	玉突業	三
呉服太物業	六	遊藝舞曲師匠	三	生魚商	六
理髪結髪業	九	自動車業	二	雜貨商	元
湯屋業	一	酒溜小賣業	四	劇場	二
米穀商	二	肥料商	四	電燈器具業	一
荒物商	三	自轉車商	三	材木商	三
菓子小賣商	三	代書業	三	煙草小賣業	三
文房具商	七	牛豚鶏肉商	四	古着商	五
宿屋業	五	農具種子商	一	中立紹介業	三

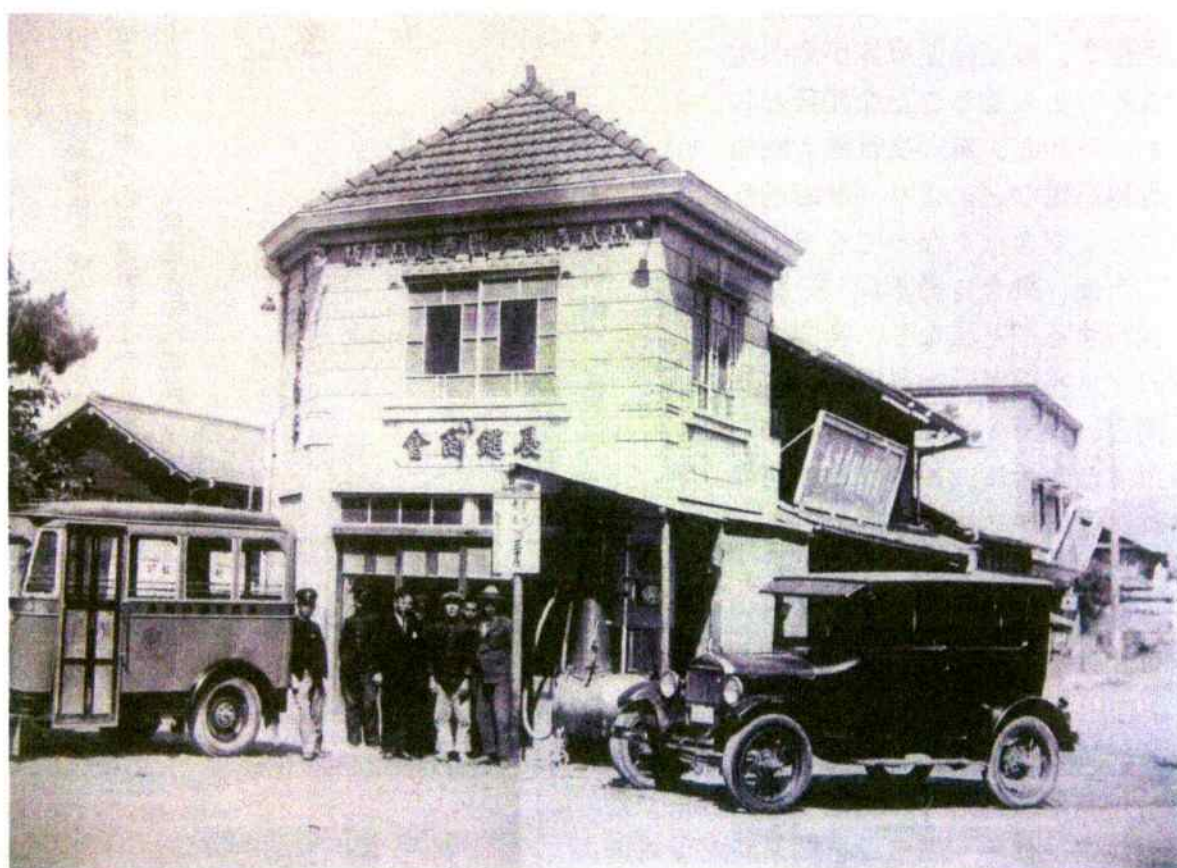
農業 一二五
布教師 三

知らなかった高蔵寺の歴史 No.5 2022. 8. 20

昭和5年(1930)「坂下町から長縄自動車」 文責 金子(52-6184)

右の写真は「高蔵寺町制記念絵はがき」の一部です。新町通りの入り口の写真でした。下の写真は同じ場所で撮影したものです。ハイカラな2階建ての建物に「長縄商会」の文字が見えます。

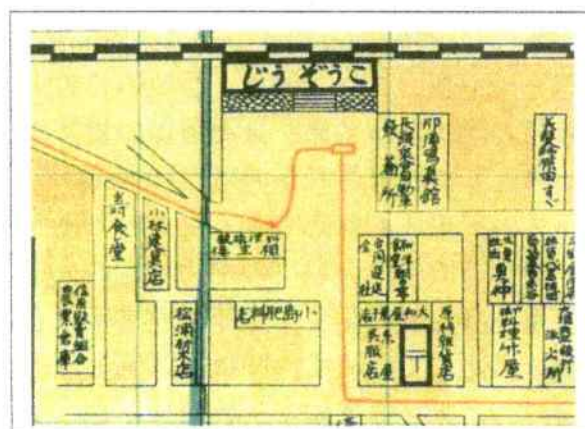
長縄商会とは何の会社なのでしょう。写真中央には長縄商会の関係者、両側にフォードの自動車(タクシー)と乗合自動車(バス)が見えます。長縄商会はバス・タクシーの経営をしていました。



長縄商会の御子孫にあたる坂下町長縄清子さんから提供していただきました

長縄さんは大正9年から坂下でタクシー業を起し、同10年には高蔵寺・坂下間でバス事業を開始します。さらに、大正13年には高蔵寺・瀬戸間の路線を拡大しています。(『春日井市史』昭和38年発行による)

昭和の初めに発行された「高蔵寺の商工地図」には坂下から高蔵寺駅前を經由して瀬戸に向かうバス路線が赤線で描かれています。



知らなかった高蔵寺の歴史 No.6 2022. 8. 27

昭和5年(1930)「日本初の省営自動車走る」 文責 金子(52-6184)

長縄商会によって運営されていた高蔵寺—瀬戸間のバス事業が省営(国鉄)になる

長縄商会によって運営されていた坂下一高蔵寺—瀬戸を結ぶバス路線は昭和5年廃止されることとなります。その理由は鉄道省(国鉄)が日本で初めてバス路線の運営を始めることになったからです。

本来、鉄道省は全国統一企画の鉄路(レール)を敷き、蒸気機関車等が牽引する貨物や客車を走らせることを任務としていました。しかし、第一次世界大戦後に起きた世界恐慌などにより、計画通りに進めることができなくなってきました。

そこで、当面、乗合自動車(バス)路線によって代行することになり、全国で初めて省営のバス路線が愛知県岡崎・岐阜県多治見間と、瀬戸・高蔵寺間の二つの路線を開業するために、長縄商会の路線も買収され、省営バスに置き換わることになりました。

しかし、岡多線建設の願いは臨時のバス代行路線に満足できませんでした。昭和10年3月、岡崎多治見間鉄道敷設期成同盟(岡崎市・瀬戸市・拳母町・多治見市)は「岡崎多治見間鉄道敷設請願書」を提出しますが、日中戦争から太平洋戦争へと続く総動員体制が始まり、鉄道建設も軍事優先となり、岡多線は幻となってしまいました。

岡崎多治見間の鉄道路線は消えてしまいましたが、岡崎—豊田—瀬戸—高蔵寺を結ぶ新たな鉄道が誕生しました。第三セクターが運営する「愛知環状鉄道」です。開通したばかりの同社の本社を見学した時に、「岡崎から高蔵寺まで全線立体交差で踏切が一つも無いこと、岡崎・豊田の自動車産業、瀬戸の陶磁器はじめ、東海道線の貨物輸送のバイパスとして設計されたので、16両編成の新幹線クラスの列車にも対応できる」という話を聞きました。愛知万博では会場への主力輸送の大役を果たし、現在は沿線の学生や生徒の通学手段としての役割を果たしています。国鉄バス第1号の実物は港区のリニア・鉄道館に実物が展示されています。

鉄道省告示第三百五十四号
昭和五年十二月二十日ヨリ岡崎多治見間及瀬戸記念橋高蔵寺間ニ於テ左ノ格号ニ依リ自動車ニ由ル運輸営業ヲ開始ス
昭和五年十二月十七日 鉄道大臣江本翼

岡多線
(略)

高蔵寺戦	高蔵寺
瀬戸記念橋	↓十軒屋
瀬戸電前	鹿乗橋
瀬戸京町	高蔵寺本町
中水野	高蔵寺(中央本線既設底流所)
東谷山前↓	『瀬戸市史資料編六 近現代六』



国鉄バス第1号(1930年製造) 『瀬戸市史資料編六 近現代2』より